



NAGAYAMA

龍ヶ崎市立長山中学校

学校だより

令和8年9月16日

文責：教頭（箕輪）

生徒数 191人

No. 4

新しい一人一台端末が導入されました ～これからの学びを支える新しいパートナー～

このたび、龍ヶ崎市教育委員会より、生徒一人一人が学習で使用する新しい一人一台端末を導入していただきました。

新しい端末を手にした生徒たちは、これまで以上に快適になった学習環境に喜びを感じながら早速、授業やさまざまな教育活動の中で活用しています。端末を起動し、画面に向かって友達と考えを共有したり、必要な情報を調べたり、学習の成果をまとめたりする姿からは、ICTを活用した学びが生徒たちの日常の学習の中にしっかりと根付いていることが感じられます。

一人一台端末は、単に「便利な機器」というだけではありません。自分が疑問に思ったことをすぐに調べる、必要な情報を選択して整理する、自分の考えを分かりやすくまとめる、友達の考えと比較しながら自分の考えを深めるなど、これからの時代に必要となるさまざまな学びを支える大切なツールです。

本校では、今回導入していただいた新しい端末を有効に活用し、これまで以上に「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指してまいります。例えば、授業の中で一人一人が自分の考えを端末にまとめ、それを学級全体で共有することで、これまで発表することに抵抗を感じていた生徒の考えも、みんなで共有することができます。また、友達の考えを瞬時に見ることで、「自分とは違う考え方がある」「こんな見方もあるのか」と気づき、そこからさらに自分の考えを深めていくこともできます。

さらに、総合的な学習の時間や各教科の学習において、地域のことを調べたり、さまざまな資料や情報を活用したり、学習したことをプレゼンテーションにまとめたりするなど、端末を活用することで、生徒の「知りたい」「調べたい」「伝えたい」という思いを大切にしたい学習を一層充実させていきたいと考えています。

一方で、ICT機器は使い方を誤ると、学習の妨げになったり、トラブルにつながったりすることもあります。そのため、端末の操作方法だけでなく、情報モラルや個人情報の扱い、著作権、SNS等との適切な関わり方についても継続して指導してまいります。今回も、新しく更新された「龍ヶ崎市学習者用端末家庭活用ガイドライン」を各クラスで確認した後に使用を始めたところです。今後は、「何ができるか」だけでなく、「どのように使うことが大切なのか」を考え、情報社会の中で責任ある行動ができる生徒を育てていきたいと考えています。

また、今回の新しい端末は、多くの方々の支えによって整備されたものです。生徒たちには、整備してくださった龍ヶ崎市教育委員会の方々への感謝の気持ちをもち、自分の端末を大切に扱ってほしいと思います。落下や水濡れなどに十分注意することはもちろん、自分の卒業後に使う人のことも考えて大切にしていきたいです。

